

引用文献

- 新井陽子, 高橋真理(2006). 産後うつ病の妊娠期予防的介入におけるシステマティック・レビュー. *母性衛生*, 47(2), 464-473.
- Cindy-Lee, D. & Therese, D.(2013). Psychosocial and psychological interventions for preventing postpartum depression. Cochrane Database of Systematic Reviews.
- 海老根真由美, 神田千恵, 景山直子, 本間真紀, 石道子, 松本幸子, 高井泰, 斉藤正博, 関博之, 竹田省(2007). 実践レポート うつ病予防のための心理的援助の実際. *助産雑誌*, 61(11), 944-950.
- Gavin, N. I., Gaynes, B. N., Lohr, K. N., Meltzer-Brody, S., Gartlehner, G. & Swanson, T. (2005). Perinatal depression : a systematic review of prevalence and incidence. *Obstetrics and Gynecology*, 106, 1071-1083.
- Gordon, R. E. & Gordon, K. K.(1960). Social factors in prevention of postpartum emotional problems. *Obstet Gynecol*, 5, 433-438.
- 合田祿(2016). 妊産婦の自殺. 朝日新聞. Retrieved from <http://www.asahi.com/articles/ASJ5K6D0QJ5KUBQU00M.html>
- グレッグ美鈴, 横山美江, 麻原きよみ(2007). よくわかる質的研究の進め方・まとめ方—看護研究のエキスパートをめざして. 医歯薬出版株式会社.
- 橋口和生(2016). 周産期医療・精神科診療ネットワーク構築と精神科への招待. *精神医学*, 58(2), 149-154.
- 堀内勁, 窪田昭男, 橋本洋子, 平野慎也(2015). 周産期精神保健への誘い 親子のはじまりを支える多職種連携. メディカ出版.

- 岩田裕子, 森恵美, 坂上明子, 前原邦江, 小澤治美, 青木恭子, 土屋雅子(2016). 産後 1 ヶ月時に褥婦が認識するソーシャルサポートとうつ症状. *母性衛生*, 57(1), 138-146.
- 岩谷澄香, 北東陽恵, 若林紀子, 吉川多加子, 成瀬悦子(2001). 妊娠初期と産後 5 日目および 1 ヶ月目の精神状態の関連性. *日本女性心身医学会雑誌*, 6(1), 116-123.
- 亀岡美紀, 大賀公子, 岡部菜摘, 小澤千恵, 谷島春江(2015). 産科スタッフが行う相談外来での困難の実態. *日本看護学会論文集 精神看護*, 45, 219-222.
- 上別府圭子(2008). 周産期のメンタルヘルスと育児支援のシステム構築に関する研究. 児童関連サービス調査研究等事業報告書, 1-24.
- 神庭重信(2016). これだけは知っておきたい 女性とうつ病 サインを見逃さないために. 医薬ジャーナル社.
- 春日武彦(2011). 援助者必携 はじめての精神科. 医学書院.
- 加藤尚子(2009). 「こんにちは赤ちゃん事業」を成功させるために 先進事例に学ぶ 保健師と助産師が状況に応じて訪問 神戸市の取り組み. *保健師ジャーナル*, 65(5), 354-359.
- 菊池紗耶(2016, 11). 産後の精神疾患と自殺 自殺予防の観点から, *日本周産期メンタルヘルス学会*, 東京都.
- 北村俊則(2007). 周産期メンタルヘルスケアの理論 産後うつ病発症メカニズムの理解のために. 医学書院.
- 北村俊則, 岡村州博, 竹田省, 藤田壽太郎, 上里忠司, 杉山隆, 日下秀人, 佐藤昌司, 福嶋恒太郎, 大場隆, 松井和夫, 金澤浩二, 岡野禎治, 吉田敬子, 山下洋, 新井陽子, 中野仁雄 (2006). 助産師による妊娠期間中の心理支援が産後うつ病の重症度に与える予防効果に関する研究 周産期精神保健ケアの方策と効果判定に関する研究.

厚生労働科学研究費補助金 健やか次世代育成総合研究事業 研究班. 健やか親子21(第2次) ホームページ. <http://sukoyaka21.jp>(閲覧日 2016 年 6 月 22 日)

厚生労働省. 「健やか親子 21」公式ホームページ. <http://rhino.med.yamanashi.ac.jp/sukoyaka/mokuhyou2.html>(閲覧日 2016 年 6 月 22 日)

厚生労働省 a. 看護教育の内容と方法に関する検討会 第一次報告. <http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000013l0q-att/2r98520000013l6e.pdf> (閲覧日 2017 年 1 月 16 日)

厚生労働省 b. 周産期医療体制のあり方に関する検討会. <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/other-isei.html?tid=292852> (閲覧日 2017 年 1 月 17 日)

久米美代子, 堀口文(2012). マタニティサイクルとメンタルヘルス. 医歯薬出版株式会社

松島英介, 仙波純一(2015). 女性のうつ病 ライフステージからみた理解と対応. メディカル・サイエンス・インターナショナル.

Mary, A. Whooley, Andrew, L. Avins., Jeanne, Miranda. & Warren, S. Browner. (1997). Case-finding instruments for depression Two questions are as good as many. *J Gen Intern Med*, 12(7), 439-445.

Nilsson, E., Lichtenstein, P., Cnattingius, S., Murray, R. M.& Hultman, C.M.(2002), Women with schizophrenia: pregnancy outcome and infant death among their offspring. *Schizophr Res*, 58(2-3), 221-229.

内閣府. 少子化社会対策大綱(平成 27 年 3 月 20 日閣議決定). <http://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/law/taikou2.html> (閲覧日 2016 年 6 月 30 日)

中野仁雄, 北村俊則, 金澤浩二, 木下勝之, 工藤尚文, 佐藤昌司, 富田長康, 岡野禎治, 吉田敬子, 新道幸恵, 谷口初美, 仁志田博司, 竹内徹, 小林隆児, 崎尾英子(2000). 多施設共同産後うつ病研究 厚生科学研究費補助金(子ども家庭総合研究事業) 妊産褥婦および乳幼児のメンタルヘルスシステム作りに関する研究.

中野仁雄, 新道幸恵, 北村俊則(2005). 心理的問題をもつ妊産褥婦のケア 助産師による実践事例集. 医学書院.

永田雅子(2011). 周産期のこころのケア 親と子の出会いとメンタルヘルス. 遠見書房.

成田伸(2012). 周産期ハイリスクケアの構築の必要性. *助産雑誌*, 66(3), 210-215.

日本産科婦人科学会, 日本産婦人科医会(2014). 産婦人科診療ガイドライン 産科編 2014. 日本産科婦人科学会.

日本産婦人科医会(2014). 妊娠等について悩まれている方のための相談支援事業連携マニュアル.

日本精神神経学会(2014). DSM-V 精神疾患の診断・統計マニュアル. 医学書院.

日本周産期メンタルヘルス学会. 日本周産期メンタルヘルス学会公式ホームページ.
<http://pmh.jp/index.html> (閲覧日 2016 年 6 月 22 日)

西園マーハ(2011). 産後メンタルヘルス援助の考え方と実践 地域で考える子育てのスタート. 岩崎学術出版社.

岡野禎治, 南田智子, 國分真佐代(2010). 産前(妊娠)うつ病. *産婦人科治療*, 100(2), 231-237.

岡野禎治(2014). 国内外における周産期精神医学研究の歴史と発展. *産科と婦人科*, 9(55), 1099-1103.

岡野禎治, 鈴木利人, 杉山隆, 新井陽子(2016). ストロークから読み解く周産期メンタルヘルス. 南山堂.

佐藤昌司(2008). 妊娠・出産のメンタルケア. *HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY*, 15(2), 143-148.

澁谷いづみ(2013). 平成 24 年度地域保健総合推進事業 地域保健の視点で担う今後の保健所母子保健活動の推進に関する研究報告書. 日本公衆衛生協会.

杉下佳文, 栗原佳代子, 古田正代, 池田真理, 山本弘江, 大塚寛子, 上別府圭子(2011). 周産期メンタルヘルスと子ども虐待対応に関する全国医療機関の取り組み. *日本周産期・新生児医学会雑誌*, 47(1), 86-91.

竹田省(2016). 妊産婦メンタルヘルスに関する合同会議 2015 報告書. *日本産科婦人科学会雑誌*, 68(1), 129-139.

竹内崇(2016). 周産期におけるリエゾン活動 対象となる精神疾患と今後のあり方について. *精神医学*, 58(2), 141-148.

梅崎みどり, 富岡美佳, 國方弘子(2012). 我が国の産後うつ病に関する文献の検討. *山陽論叢*, 19, 92-97.

梅崎みどり, 富岡美佳, 國方弘子(2013). 妊娠期および産後における産後うつ病発症予防のための看護介入に関する実態調査. *日本精神保健看護学会誌*, 22(1), 39-48.

World Health Organization; WHO. <http://www.who.int/reproductivehealth/publications/monitoring/icd-10-perinatal-deaths/en/>(閲覧日 2016 年 6 月 20 日)

山下春江他(2003). 妊産褥婦の抱える精神的問題のスクリーニング その方法と実践. *助産雑誌*, 57(2), 106-112.

吉田敬子(2000). 母子と家族への援助 妊娠と出産の精神医学. 金剛出版.

吉田敬子, 山下洋, 岩元澄子(2006). 育児支援のチームアプローチ 周産期精神医学の理論と実践. 金剛出版.